

10.29ゼネストに全力を

日韓批准阻止と社学同の任務

日帝の「転換路線」粉碎へ 議会主義への集約を許すな！ 共産主義者同盟学対部

去る九月三日、学生戦線は日韓批准をめぐり、大政治的攻防戦を前に、社学同全国委員会、及び再建都学連と京都府学連による全自代をもった。この二つの会議は、今日のますます深刻化しつつある日本資本主義の矛盾の中に日韓条約批准の階級的意図を全面暴露し、同時に春のベトナム日韓斗争に於ける大衆的政治的エネルギーと運動の限界を総括する中で、日韓批准阻止斗争に向けて我々が担うべき任務と方針を明確にすることを果たした。

そして我々は基本的にはこの課題の一半を成し遂げた。今我々は残りの一半を具体的に批准阻止の斗争に集中して闘うべきである。

一、体制の転換と日韓会談

国際通貨体制の危機と通産生産の凋落は、ブルジョアジーがその当分の打開を、対米ダンピング輸出や、公債発行等の国内インフレ政策と社会開発を求めるとして現在化している今日の国際情勢にあって、日本資本主義もまた、現在通産生産と利潤率の低下及び長期短期の外貨不足の、戦後発展の半を成し遂げた。今我々は残りの一半を具体的に批准阻止の斗争に集中して闘うべきである。

第四期生を募集

大阪労働学園事務局が

大阪労働学園は、既成政党の労働学校のカラをよった学校として発足して以来、すでに一年半の月を経て卒業生を送りだし、多くの組合活動家、文化活動家や読書会などを育ててきたが、このたび、更に学園の陣容を強化して、第四期生の募集に入っている。

大阪労働学園の特色は他の労働学校のカラをよった学校として発足して以来、すでに一年半の月を経て卒業生を送りだし、多くの組合活動家、文化活動家や読書会などを育ててきたが、このたび、更に学園の陣容を強化して、第四期生の募集に入っている。

大阪労働学園の特色は他の労働学校のカラをよった学校として発足して以来、すでに一年半の月を経て卒業生を送りだし、多くの組合活動家、文化活動家や読書会などを育ててきたが、このたび、更に学園の陣容を強化して、第四期生の募集に入っている。

開校 十月十九日(火)六時三十分
定員 五〇名(申込順)
申込方法 ①大阪府北区高槻町八五番根崎書店(三六)一六七二
②京都市左京区吉田本町京大経済学部部内井研究内久松俊一
・学園長 佐野茂樹
・顧問及び講師 京大教授河野健二、京大助教授井後俊彦、京大助教授足利末男、京大助教授高原宏平、立命大教授奈良本辰也

・開校 十月十九日(火)六時三十分
・定員 五〇名(申込順)
・申込方法 ①大阪府北区高槻町八五番根崎書店(三六)一六七二
②京都市左京区吉田本町京大経済学部部内井研究内久松俊一
・学園長 佐野茂樹
・顧問及び講師 京大教授河野健二、京大助教授井後俊彦、京大助教授足利末男、京大助教授高原宏平、立命大教授奈良本辰也

・開校 十月十九日(火)六時三十分
・定員 五〇名(申込順)
・申込方法 ①大阪府北区高槻町八五番根崎書店(三六)一六七二
②京都市左京区吉田本町京大経済学部部内井研究内久松俊一
・学園長 佐野茂樹
・顧問及び講師 京大教授河野健二、京大助教授井後俊彦、京大助教授足利末男、京大助教授高原宏平、立命大教授奈良本辰也

・開校 十月十九日(火)六時三十分
・定員 五〇名(申込順)
・申込方法 ①大阪府北区高槻町八五番根崎書店(三六)一六七二
②京都市左京区吉田本町京大経済学部部内井研究内久松俊一
・学園長 佐野茂樹
・顧問及び講師 京大教授河野健二、京大助教授井後俊彦、京大助教授足利末男、京大助教授高原宏平、立命大教授奈良本辰也

・開校 十月十九日(火)六時三十分
・定員 五〇名(申込順)
・申込方法 ①大阪府北区高槻町八五番根崎書店(三六)一六七二
②京都市左京区吉田本町京大経済学部部内井研究内久松俊一
・学園長 佐野茂樹
・顧問及び講師 京大教授河野健二、京大助教授井後俊彦、京大助教授足利末男、京大助教授高原宏平、立命大教授奈良本辰也

・開校 十月十九日(火)六時三十分
・定員 五〇名(申込順)
・申込方法 ①大阪府北区高槻町八五番根崎書店(三六)一六七二
②京都市左京区吉田本町京大経済学部部内井研究内久松俊一
・学園長 佐野茂樹
・顧問及び講師 京大教授河野健二、京大助教授井後俊彦、京大助教授足利末男、京大助教授高原宏平、立命大教授奈良本辰也

財金融政策をテコとする大衆の直接収奪と中小資本の整理と巨大資本の一元の支配……

他方、アジア侵略は、今日のアジア階級斗争の激化の中で、資本進出と低賃金労働力確保を基礎に経済、政治、軍事の全領域を一体化した政治経済統合一反革命体制の確立として重点を加え、国内体制をそれに結び付ける準備が自衛隊の作戦計画内治安計画として進められている。

以上の二つの動向は、今日の国際的危機の進行と国際階級斗争のアジアを頂点とする胎動に対する日本帝国主義の対応として、日本帝国主義国家の支配の自立的強化を結節点に展開されようとしている。

二、日韓会談と学生運動

以上の戦後体制の転換に対し、学生運動は安保斗争敗北後の低迷の中から、六年来その転換の軸をなす日韓会談反対の先駆的闘いに取り組んできた。そして更に日帝のアジア侵略に焦点をすぼめて今日のアジア階級斗争の激化に対する、帝国主義の国際反革命軍事事略と政治反動に反対し、それをめぐる大衆的政治的エネルギーの潜在化を、昨秋、今春の原潜一ベトナム斗争として大衆的政治斗争を生み出し、常にそれを日帝との対決へと発展を追求してきた。

三、全自代の総括と闘いの焦点

全自代の課題は学生戦線がその総力を上げて日韓批准阻止と闘うに当たって、その方針を明確にし、任務を明らかにし、闘い体制を確立する点にあった。そしてその間題は次の三点に存在した。即ち第一は日韓条約批准を結節点とする現在の国際国内危機に於ける政治経済体制の転換を、階級斗争の課題と関連していかにかつらであるかであり、第二は日韓批准阻止に向けて闘い化しつつある大衆的政治的エネルギーを日帝とのいかなる政治的対決へと結集するかであり、第三は日韓批准阻止に向けて、現在の階級的力量を最も有効に組織し発展させる、階級斗争の現代的課題にどう対応するかである。

四、闘いの展望と我々の任務

日韓批准をめぐる焦点は、現在既に11月中旬に於ける強行採決後の集約の方向の論争として形作られている。既にブルジョアジーの批准強行採決後の、不況対策一合理政治路線と階級斗争の集約として展開している。とりわけ10、12月共一日共闘から11月中旬強行採決時を焦点としている。

二人の高位当選を実現したといふものが、その方法が言え、その名前が、参議員選挙の準備といふことで、参議員全体が総崩れとなると共に、自治労も自らの選挙活動のために、形ばかりの職場、権利意識を高めたかという大会を一度もたさず、春闘にさ成るをあげておらず、かえって一切を選挙活動に埋没させるために職場の矛盾に対する点検がおろそかにされ、組合員大衆と指導部との遊離現象がみられる。

日韓条約批准への行動隊結成や治安準備、批准の強行突破の姿勢は、南朝鮮の全面的支配と三八度線への進出によって、大衆の社会政治的危機を階級の分断と国家主義に結び付け、参院選一都議選に於ける自民党の支配集約力の弱体化に対して小選挙区による社会主義幻想のブルジョアの操業と共に、支配の重点を執行権の全機構の強化への転換として進める事に他ならない。

自治労は、八月下旬の全国大会において、十月中旬、国家公務員新給与の閣議決定直前に、半日ストを設定し、これに取組むことを公定した。

人事院勧告と公務員 共闘の半日スト 近藤 晴次

今年八月、人事院が六・四の五月実施という勧告をしたのに対し、政府は財源難を理由に、翌年四月実施の勧告を追求し、更には来年から人事院勧告を廃止しようとの動きすら出ている。

マル戦派は依然として資本主義の危機と学生運動の突出し打撃力部隊を叫ぶのみであり、昨年来の中核マル戦連合は二つの対極への転換を更に進めている。

日韓批准をめぐる焦点は、現在既に11月中旬に於ける強行採決後の集約の方向の論争として形作られている。既にブルジョアジーの批准強行採決後の、不況対策一合理政治路線と階級斗争の集約として展開している。とりわけ10、12月共一日共闘から11月中旬強行採決時を焦点としている。

二人の高位当選を実現したといふものが、その方法が言え、その名前が、参議員選挙の準備といふことで、参議員全体が総崩れとなると共に、自治労も自らの選挙活動のために、形ばかりの職場、権利意識を高めたかという大会を一度もたさず、春闘にさ成るをあげておらず、かえって一切を選挙活動に埋没させるために職場の矛盾に対する点検がおろそかにされ、組合員大衆と指導部との遊離現象がみられる。

最先端から
プロレタリア通信

人事院勧告と公務員
共闘の半日スト
近藤 晴次

二人の高位当選を実現したといふものが、その方法が言え、その名前が、参議員選挙の準備といふことで、参議員全体が総崩れとなると共に、自治労も自らの選挙活動のために、形ばかりの職場、権利意識を高めたかという大会を一度もたさず、春闘にさ成るをあげておらず、かえって一切を選挙活動に埋没させるために職場の矛盾に対する点検がおろそかにされ、組合員大衆と指導部との遊離現象がみられる。

現代資本主義と理論的諸課題

飛鳥浩次郎

国際的緊張か国内的抑圧か

岐路に立つ国独資体制

戦後資本主義体制は矛盾を強めて再編過程に入っている。現代資本主義の正確な理解を得るために編纂部はこの論争をよびかける。今回は飛鳥浩次郎に寄稿を依頼した。

(一)

国家独占資本主義は資本主義の全般的危機の産物であり、国家の独占体制への従属が、私的資本主義の発展段階である。勿論このように規定は不十分であり、少なくとも我々はレーニンの「帝国主義論」の規定を想起する必要がある。レーニンはその歴史的な大書「帝国主義論」において、帝国主義—資本主義の最高の発展段階としての一を、次のように特徴づけた。既ち

(二)

このような国家独占資本主義は一九三〇年代の危機—即ち金本位制の崩壊と資本主義世界市場のブロック化を通じて追求された。管理通貨制度とそれにもついでインフレーションの展開は、巨大な軍需産業と結合して、ドイツ、イタリア、日本等の危機からの脱出をたすけ、特にアメリカは、ニューディールと軍需産業により新たな生産秩序を回復した。しかも第二次大戦を通じて飛躍的な生産技術の革新を実現したアメリカはその巨大な生産力による世界市場の再統一を、ブレントワース体制により追求するに至った。これは第二次大戦が、アメリカ以外の帝国主義国に破壊をもたらしたこともあつて、圧倒的なドルの世界支配として結果した。特に植民地を喪失した敗戦帝国主義、ドイツ、イタリア、日本はマーシャルプラン、ドッチプランによるドルの援助をテコとした大戦後の復興を実現したのである。

基礎にした、様々な財政政策をあげることができた。また国家独占資本主義の発展を、資本主義市場の内的延長を軸として追求せしめることにより、やがて重要なことには、このようなケインズの諸政策といわれるものが特殊な資本主義の発展段階(世界的な社会主義革命の高潮がおしよせるような)における資本主義の死をかけた延命策として追求されたことである。

(三)

更に今は、このような戦後世界体制の流動化が強調される状況は、国家独占資本主義の基本的原理の展開—インフレーション政策が、アメリカのドル政策(国際通貨としての)と矛盾するに至ったこと(各国の生産力のアメリカへの接近)として説明されるだろう。即ち、

また国際的には、同時インフレ(金利の大幅な引き下げ)に政策の展開、即ち国家独占資本主義の新たな国際関係をめざした(スワップ協定など)ポンド、ドル防衛を通じて、各国の協力をとりつけ、ポンドのテコ入れをして、更に長期的にはIMF再編強化などが提起されている。他方では通貨政策などにも拘らず重要なことは、アメリカの世界支配の機構そのものが崩壊に陥っていることである。

(四)

更に今は、このような戦後世界体制の流動化が強調される状況は、国家独占資本主義の基本的原理の展開—インフレーション政策が、アメリカのドル政策(国際通貨としての)と矛盾するに至ったこと(各国の生産力のアメリカへの接近)として説明されるだろう。即ち、

(五)

更に今は、このような戦後世界体制の流動化が強調される状況は、国家独占資本主義の基本的原理の展開—インフレーション政策が、アメリカのドル政策(国際通貨としての)と矛盾するに至ったこと(各国の生産力のアメリカへの接近)として説明されるだろう。即ち、

共産主義

共産主義者同盟理論機関誌

復刊準備号 発売中 復刊一 四号 十一月旬発売

また国際的には、同時インフレ(金利の大幅な引き下げ)に政策の展開、即ち国家独占資本主義の新たな国際関係をめざした(スワップ協定など)ポンド、ドル防衛を通じて、各国の協力をとりつけ、ポンドのテコ入れをして、更に長期的にはIMF再編強化などが提起されている。他方では通貨政策などにも拘らず重要なことは、アメリカの世界支配の機構そのものが崩壊に陥っていることである。

お知らせ

あつた革命的防衛政策の建設を實踐的にめざして共産主義者同盟の再統一・全国化の諸準備は着々と進行しつつある。既にいくつかの文書で明らかにしたように去る七月十一日の合同中央委員会をもつて、関西共産主義者同盟(赤旗)・共産主義者同盟(赤旗)・阿根組織による統一指導部が成立した。このアメリカの予測された

輸出強化による需要増大を基軸として進んでいる。恰も、当初は消極的な出発をしたかに見える日米購約も、今ブルジョアジーにとっては魅力のあるものとなり、対中国政策も重要として進んでいる。このようなメカニズムを通じて日本は、ケインズの国内政策と、国際競争の矛盾に直面している。

困難である。国内的には昭和二十年度の高度成長の中で強固な体制を獲得してきたとしても(一)近代化の進歩の遅く、それ自体の矛盾は深まってきた。これと国際的な危機と結合するケースは余剰のある延命策の転回を不可能とするだろう。

3の2、東京丸の内(251)7211 (251)7213【夜間】【国電】水沢下四分、地下鉄淡路町四分、大阪府東淀川区田川通3の16 (302)7288 万建ビル内 (平等社改名) 【阪急】十三駅下車七分。大阪駅よりトロバス田川通下車一分